



施設の概要

1. 店舗（スターバックスコーヒー）
札幌環状通東店
2. 平成 26 年 12 月オープン
3. 敷地面積 1978.44 m² (598.47 坪)
4. 構造規模 S 造（鉄骨）平屋建て
5. 建築面積 247.62 m² (74.90 坪)
6. 延床面積 236.59 m² (71.56 坪)

◆施主 高田 裕一 氏（北札幌支店組合員）

いつかは、売り上げ日本一の店舗を願って！

今回、店舗を新築した敷地には祖父の代に建てて 40 年以上経過した戸建て貸家が 11 棟ありました。施主は空室や老朽化対策を講じながら賃貸しておりましたが、環状通り沿いで地下鉄東豊線の徒歩圏にある好立地と、近隣との需要バランスを考えた新たな土地活用についても検討しておりました。

活用方法のひとつに居住系への建替えも視野に入れておりましたが、「JA さっぽろ不動産プラザ北札幌店から幾つかのテナント誘致の申し入れがあったなかから“スタバ”の愛称で知られる『スターバックスコーヒー』に決定致しました。

全国で唯一スターバックスの店舗が無い鳥取県の知事が、“スタバはないけれど、日本一の「スナバ（砂場）＝鳥取砂丘」がある”と悔しがらせた程の有名店に決めた最大のポイントは、スターバックスの集客力による地域への貢献だったそうです。また、世界規模のブランド力だけではなく、市場調査の結果から「この場所以外考えられない」というスターバックスの強い想いと、何よりも「コーヒーには自信がある」とのスタッフの素直な一言が心に響き、家族全員で出店を受け入れたそうです。

今後は、“北海道一の売り上げ店”への期待もありますが、相乗効果によって一層の地域活性化につながる事業となり、地域貢献への立役者となることは間違いありません。

施主に出来栄と満足度を伺いました

土地活用・相続対策については、家族全員で顧問税理士を交えながら十分に話し合い、先々の代まで見据えた事業を行ないました。現在、開店から 3 ヶ月ほど経ちますが週末は満席の状況。親戚や友人などからも「本当に良い事業をしたね」と声を掛けられるそうで、近隣のイメージアップに繋がったことに大変満足のご様子でした。

さらに、奥様からも「JA の全面的なバックアップにより安心して事業を行なう事ができました」とのお言葉をいただき、今回の事業を通じて素晴らしいご縁を結ぶことにより強い“絆”を築けたと心より感謝申し上げます。

お忙しい中取材に応じていただきました高田さん、誠にありがとうございました。

— JA さっぽろでは資産管理事業を通じて、組合員の皆様のお役に立てるよう様々な提案・相談・サポートを行なっておりますので、資産活用のご相談は各支店の不動産プラザにお任せください—